つながる・かかわる

災害時の一瞬の出来事が大きな恐怖と混乱を招き、心身ともに 大きなダメージを受けます。つらいとき、悲しいときに、生きぬ こうとする強い気持ちは、人とのつながりや語り合いなどの中か ら芽生えることも多いです。

平常時から地域とつながる

日々の暮らしの中で、趣味などを通じて、気の合う友達づくりやネットワー クづくりを進めておくと、災害時に大きな力となります。

町会のお祭りや防災訓練など地域のイベントに参加する

地域の子育てサークルやボランティア活動など、また祭りや運動会といった 地域の行事に進んで参加し、地域の方々と顔見知りになっておきましょう。地 区社会福祉協議会が開催している「子育てサロン」もお勧めです。

子育てサロンでは、育児相談や育児に関する情報提供のほか、親子同士の交流の場を提供しています。

自分からも地域へかかわろう

近隣の方々に日ごろから挨拶をするなど、頻繁にコミュニケーションをとることで地域の方々と顔の見える関係を築き上げましょう。







子育で中の親子の交流や 仲間づくりの場としても、ご利用ください

子育て支援センター

就学前の親子が自由に遊んだり、顔なじみになった親子と友達になって、 情報交換したりすることができます。妊娠している方も利用できます。

- ●南本町子育て支援センター
 - 船橋市南本町 10-1
 - **2** 047-434-3910

- 高根台子育て支援センター
 - 船橋市高根台 2-1-1
 - **2** 047-466-5666

児童ホーム

親子で参加できる行事も行っており、親子同士の情報交換や友達づくりの場として活用できます。市内には21か所の児童ホームがあります。市ホームページをご覧ください。

災害時の SNS の情報はうのみにしない

》 個人的な発言であることを理解する

一部の公式アカウントを除き、ツイッターなどの SNS(ソーシャルメディア)で手に入る情報のほとんどは、一般の人による個人的な発言です。事実誤認や誤解などが起こる可能性も高いので、その

情報を元に行動してけがなどをしても、 情報を発信した人などは、何も保障して はくれません。

>> デマが発信される可能性もある

誤報だけではなく、混乱に乗じてデマが流されることもあります。いかにもありそうなもっともらしい話ほど、デマである可能性が高いので気をつけましょう。



船橋市の防災情報を入手しよう

船橋市は、さまざまな広報手段により、防災に関する情報を発信しています。 常日ごろから確認しておきましょう。

船橋市ホームページ

災害時の緊急情報など、船橋市に 関するさまざまな情報を発信します。 「防災ハンドブック」も掲載してい

ます。

https://www.city.funabashi.lg.jp/

船橋市公式アプリ「ふなっぷ」

ふなっぷでは避難所 の場所等、様々な防災 コンテンツをご覧いた だけます。







Android

船橋市公式 X

船橋市のホームページから配信される新着情報を自動で収集し配信しています。「防災行政無線の情報」など、安全・安心に関する情報

女王・女心に関する情報なども配信しています。

公式アカウント Funabashi_city



ふなばし情報メール「ふなばし災害情報」

船橋市は、風水害や地震などの自 然災害、避難所の開設状況などを登 録者の方にメールでお知らせしてお ります。

まだ、登録されていない方は、右記コードを読み取り、空メールを送信し、本登録サイトより登録をお願いします。



災害緊急情報 「ふなばし防災エリアメール」

NTT ドコモの「エリアメール」、 KDDI (au) およびソフトバンクの「緊 急速報メール」に対応している携帯 電話(スマートフォンを含む)に一 斉に避難や災害情報の配信を行いま す。

J:COMチャンネル船橋・習志野 地デジ 11 チャンネル (ケーブルテレビ)

番組やデータ放送を通じて、緊急 情報を提供します。

家族との連絡方法を確認しよう

災害時、多くの人が困ったのは家族と連絡がとりあえなかったこと。平日の 日中は、家族がばらばらの場所で過ごす場合もあるでしょう。災害時にどのよ うに連絡をとりあうのか、また、どうしても連絡がとれない場合にはどうする かも、話し合っておきましょう。

災害用伝言ダイヤル「171」の使い方

メッセージ を残す

メッヤージ の録音

メッセージ を問く

71 2

伝言を聞きたい電話番号

メッセージ の再生

※音声ガイダンスに従って操作してください。

携帯電話・スマートフォンの「災害用伝言板サービス」の使い方

公式メニューや 専用アプリから 災害用伝言板に アクヤス

「災害用伝言板」 を開く

「登録」を選択して 伝言を登録 伝言を入力 する場合 (全角 100 文字以内)

伝言を確認 する場合

「確認」を選択して被災 地の人の携帯電話番号 を入力して伝言を見る

※「災害用伝言ダイヤル」や「災害用伝言板サービス」は、毎月1日、15日、防災週間(8/30~ 9/5)、防災とボランティア调間 (1/15 ~ 1/21) などに体験利用ができます。いざという時に 備えて、体験しておきましょう。

メールやソーシャル メディアを組み合わせる

携帯電話・スマートフォンのメー ルや Facebook や LINE(既読で生 存確認ができる) などの SNS (ソー シャルメディア)や Twitter などは、 東日本大震災でも安否確認に活用さ れました。

遠方の親せきなどを 中継点にして連絡をとろう

事前に、遠方に住む親せきなどに お願いして、災害時に家族の安否確 認の中継点になってもらえるように しておきましょう。複数の連絡拠点 を設けておくのが理想です。